



GOVERNOR's MONTHLY LETTER

2025-26 ガバナー月信 11 月号

【Vol.5 November 2025】

退会防止の決め手とは？



国際ロータリー第 2580 地区

2025-26 年度ガバナー

中川 雅雄

「地区の大きな目標」

1. クラブをもっと元気にしよう。
例会を楽しくしよう。
2. 地域社会に役立つ活動をしよう。
3. デジタルをうまく役立てよう。
+ONE よい事はマネしよう。

当地区は昨年度（2024-25）入会員数 316 名、退会者数 306 名と純増 10 名でした。2021 年度にプラスマイナス 0 として会員減少の傾向を脱して、2022 年度プラス 43 名、2023 年度プラス 123 名、2024 年度プラス 10 名と増加傾向に変わりました。その要因は多くのクラブがオープン例会の採用、クラブ独自の会員種の拡大、衛星クラブの設立など拡大増強に対して前向きな姿勢を持ったことだと思っております。

退会理由を分類してみると、1. 退会がいたしかたない事由（たとえば健康上の理由やご逝去など）2. 退会が防げた事由（転勤・転居・多忙・ロータリーとくにクラブの雰囲気合わないとか）の大きく 2 つパターンに分類されると思います。2 番目の事由は本来であれば退会を阻止ができたものだと思います。あくまでも肌感覚ですが、昨年度の退会者数 306 名の内約 100 名がその対象になると推測されます。地区では本年度より、会員数報告のフォームに退会理由の入力欄を追加いたしました。効果的な退会防止の方法を各クラブに提案する準備段階として分析を進めております。お手数をおかけしますがご協力をお願いいたします。

国際ロータリーの会員管理データベースの入会年次と退会年次のメガデータ分析では、ロータリー歴は入会 3 年未満、時期的にはロータリーの年度末である 6 月、周年事業後、などに退会者が多いとの傾向があります。その事を頭に入れて退会防止を図りましょう。

多くのクラブでよく見られる傾向ですが、いわゆる「釣った魚にはエサをやらない」状態が一番問題です。特に若い年齢層の会員の場合、在籍中は同世代の仲間を惹きつける吸引力となりますが、一度退会すると、周囲の人々に「ロータリーはつまらなかった」と否定的な印象を与え、逆効果を生み出す危険性をはらんでいます。十分な注意が必要です。推薦者だけに任せるのではなくクラブ全体でクラブに馴染むような配慮しましょう。クラブによっては 1 年間だけカウンセラーをつけ、ロータリーの基礎知識やメイクアップのやり方などきめの細かいサポートしているところもあります。例会において、出席率やニコニコの発表などの役割を与えることも、会員に参加意欲を持たせる効果的な方法です。また、同好会への参加を促すことも有効です。特に「ゴルフ同好会」は定番の活動ですが、最近では「グルメの会」や「食味会」といった会が注目されています。予約が取りにくい人気店を訪れたり、普段なかなか口にできない高価なワインを提供したりすることで、特別感や希少価値を演出し、会員の参加意欲を高める工夫がされています。他クラブのメンバーや入会候補者も招いて会合を開くことも、ひとつの有効な方法です。実際、この方法で 10 名以上の新会員を迎え入れたクラブもあります。カウンセラーや同好会を通じた勧誘は、退会防止の大きなポイントです。皆さまでも、効果的な退会防止策についての情報を地区クラブ運営支援委員会までお知らせいただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

まちやおのロータリーひとくちメモ

会員候補者を考える。

当地区（第 2580 地区東京・沖縄）には 73 のクラブがあります。会員特性からみると広域型クラブ、地域密着型クラブの 2 つに分類されると思います。共通の話題として上がるのが、ガバナー公式訪問の際に行うクラブ協議会での会員候補者に関することです。増強をするにしても、会員候補者がいなければ絵に描いた餅になってしまいます。真っ先に候補者に上がるのが鉄板の青年会議所の卒業生、商工会議所の青年部、法人会の青年部などのほかの地域奉仕団体に所属しているメンバーです。ですがこれらの団体も組織率の低下に悩んでおり、また複数のクラブが同じメンバーに入会を勧誘するため入会させるハードルが高くなっています。そこで候補者のターゲットの範囲を広げましょう。土業のメンバーは顧問先、学校の同窓会、民間の異業種交流会など会員候補者に出会う機会はたくさんあります。ここで重要なのは拙速にロータリーに誘うのではなく、相手をグルメの会、ゴルフなどに誘い人物像を観察することです。そして、ここで忘れてはいけないのは相手も私たちを観察しているということです。まさに『人の魅力』を問われています。私の場合、クラブ員として長くつき会えると思った場合、まず身近なメンバーに相談したりして、複数のアプローチ方法を考えながら勧誘をします。短期的に入会までこぎつける場合はまれで、8 年かかった時もあります。戦略的オープン例会は最後の仕上げです。いろいろな会合でアンテナを広げましょう。地道な努力が必要です。



地区からのお知らせ

2025 年 10 月 2 日に東京臨海西チェンジロータリー衛星クラブ（スポンサークラブ：東京臨海西ロータリークラブ）が、第 2580 地区の 14 番目の衛星クラブとして正式に認可されました。創立会員は 16 名で、そのうち 2 名はスポンサークラブとの二重会員として登録されています。衛星クラブは、クラブ運営に柔軟なスタイルを取り入れやすいことが大きな特徴です。それにより、若手や女性など多様な仲間を迎え入れるきっかけにもなっています。東京臨海西チェンジロータリー衛星クラブの誕生が、ロータリーのさらなる活性化と出会いの広がりにつながることを期待しています。



地区サイト
中川ガバナー
メッセージ



地区サイト
ガバナー
公式訪問
予定表

第 2580 地区クラブ数・会員数

2025 年 9 月 30 日時点の集計結果
7 月 1 日：3,007 名（内女性 350 名・11.64%）
9 月末日：3,096 名（内女性 355 名・11.53%）
クラブ数：73RC
今年度入会：113 名
今年度退会：24 名
今年度純増：89 名

謹んで哀悼の意を表します

2006-07 年度ガバナー
小澤 秀瑛（おざわ しゅうえい） 会員 東京青梅 RC
逝去日 2025 年 10 月 18 日 享年 94
入会日 1973 年 11 月 1 日
宗教法人普門寺 代表役員
ロータリー財団メジャードナー、ベネファクター、
米山功労者

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ロータリー財団・メジャードナー

長與 博典 【東京後楽】
石川 彌八郎 【東京福生】
宮崎 慶男 【東京福生】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

3 回 山路 敏之 【東京本郷】
2 回 長久保 スミ子 【東京本郷】

ポール・ハリス・ソサエティ

7 回 志熊 昌宏 【東京後楽】

米山功労者・メジャードナー

12 回 志熊 昌宏 【東京後楽】
長與 博典 【東京後楽】

米山功労者

甲斐 哲也 【東京後楽】
鈴木 晃代 【東京目白】
10 月 15 日現在